

今年も防火・防災を 北上市消防出初式

平成28年北上市消防出初式は9日、さくらホールで行われました。当日は消防団、婦人消防協力隊など約1,000人が出席。消防活動に尽力した団体、個人に表彰状、感謝状が授与されました。統監式辞では、高橋市長が「今年は国体もあり、多くの人が市を訪れる。安心・安全なまちづくりに協力いただきたい」と述べ、出席者は新たに気を引き締めていました。式典後には団員全員による分列行進が行われ、消防活動のPRと団員の士気高揚を図りました。

市内を行進する消防団員。沿道には多くの市民が訪れました。



和紙の下に敷いた手本を基に、真剣に取り組む子どもたち

年の初めに一筆 新春書初め大会

新春書初め大会は5日、江釣子地区交流センターで行われました。同大会は、主に江釣子地区の園児から中学生を対象に毎年開催されています。当日は22人が参加。市内で書道教室を開いている渡辺 胖^{ゆたか}氏の指導の下、学年ごとの課題字に取り組みました。同教室に通っているという佐藤有紀^{ゆうき}さん(江釣子小4年)は「いつもと同じように書けた」と笑顔で話していました。

参加者の作品は、2月19日(金)から21日(日)まで江釣子ショッピングセンター・パルで展示されます。

地域を担う世代へ 20年後の二子町を考えるシンポジウム

20年後の二子町を考えるシンポジウムは10日、二子地区交流センターで行われました。同シンポジウムは、二子町に暮らす若者に町をより知ってもらい、今後の町のあり方を考えようと二子町振興協議会が開催しました。はじめに及川正男センター長が「二子町ってこんな町」と題し講演。その後行われた意見交換では「二子の里・いものこまつりで子ども向けの屋台を出店しては」などの意見が出されました。同協議会では今後もシンポジウムの開催を予定しています。

及川センター長による町の歴史や文化についての講話に聞き入る参加者



市内の国指定史跡について説明する本堂氏

かつての北上を探る 発掘調査報告会・講演会

平成27年度発掘調査報告会・講演会は9日、日本現代詩歌文学館で行われました。はじめに、市および県埋蔵文化財センターが本年度の発掘調査結果を報告。調査で発見された大型の住居跡などを紹介しました。次に、元北上市立博物館長の本堂寿一氏が「北上の国指定史跡」と題し講演。樺山遺跡や国見山廃寺跡など市内の国指定史跡について解説しました。史跡から推定される環境や文化の説明を受け、参加者は当時の様子に思いをはせていました。

願いを込めて空へ 交通安全たこ揚げ大会

第42回交通安全たこ揚げ大会は6日、立花小学校で行われました。同大会は交通安全への願いを込めて、立花地区交通安全母の会が毎年開催しています。参加した同校児童23人は、同日に行われた「たこづくり教室」でたこを制作。その後行われた大会では、審査基準である「より高く、より長くとこを揚げる」ことを目指し、元気に校庭を走っていました。3位になった高橋桂太郎くん(2年)は「難しかったけど、高く上がってよかった」と笑顔を見せていました。

交通安全やキャラクターをテーマにたこを制作しました



教え子の活躍をスクリーンを使って説明する荒川氏

スポーツと芸術の視点から わんこフォーラム

わんこフォーラムは16日、さくらホールで行われました。同フォーラムは、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の機運を高め、スポーツと芸術の関係を深めようとNPO法人芸術工房が開催。青森山田高校男子新体操部監督の荒川栄氏による講演や参加者によるトークセッションなどが行われました。講演では荒川氏が自身の体験談などを披露。また、同国体・大会に向け「さまざまな視点からスポーツを見て支えてほしい」と訪れた人たちに呼びかけました。

成人の仲間入り 福祉成人祝賀会

平成28年福祉成人祝賀会は10日、ホテルシティプラザ北上で開催されました。当日は身体障害者手帳、療育手帳などを持つ市内の新成人13人とその家族、福祉関係者らが出席。北上市社会福祉協議会の菊池憲一会長が「一步一步努力し、進んでいきましょう」と激励し、一人一人に記念品を手渡しました。続いて新成人を代表して菅野秀樹さん(黒沢尻)が「支えてくれた家族、職場の皆さんに感謝しています。これからも見守ってください」と述べ、決意を新たにしました。

菊池会長から記念品を受け取る新成人の皆さん



歩幅を測定する受講者。時折笑い声も聞こえ、和やかな雰囲気で行われました

年を重ねても筋力向上 転ばぬ先の軽スポーツ教室

転ばぬ先の軽スポーツ教室は7日、コナミスポーツクラブ北上で行われました。同教室は60歳以上の市民を対象に、気軽に筋力トレーニングをしながら健康な体づくりを目的として開催(全10回)。初回は体力測定として、腰掛けた状態から立ち上がることができる台の高さと、直立した状態から2歩進んだ歩幅を測定しました。測定を受けた秋山武雄さん(74歳・上野町)は「普段散歩などはしているが、難しかった。せつかく通うので頑張りたい」と意気込んでいました。